



2年生(先輩)となる新しい年のスタート

昔から、1月、2月、3月はあつという間に過ぎてしまうことを「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われてきました。3学期が始まり、すでに3週間余りが過ぎました。今日現在で3学期の登校日数は、残り31日となりました。残り31日で、普通であれば、普通に2年生になります。

「2学期の姿のまま普通に2年生(先輩)となって大丈夫かな」と思いながら、この3週間皆さんを見てきました。そんな不安や心配が、当たり前のことを当たり前でできつつある(凡事徹底)皆さんに喜びを感じている毎日です。この短い3学期を「どんな気持ちで過ごすか」がとても大切になってきます。一人一人の目標もあるでしょう。

また、クラス(や学年)としての目標もあります。臨時休業のため6月にみんなで決めた目標を覚えていますか? 教室(や学年の廊下)に貼っていると思います。忘れた人は、もう一度見て考えて、クラス(や学年)としての集大成として、胸を張って2年生(先輩)になって欲しいと思います。

3学期期末テストまであと…

先週、「期末テストの範囲表」と「テスト計画表」が配布されました。

3学期は、1度だけのテストです。勉強の面でも4月から良いスタートが切れるように、計画的に進めていきましょう。

そこで、皆さんは『ぬれ手にあわ』という諺(ことわざ)を知っていますか? これから紹介する文章は、この諺をめぐるある家族の論争です。

かねてから、『ぬれ手にあわ』という諺のあることは知っていたが、意味はわからなかった。急に知りたくなって母に聞いてみた。母は「そんなこと知らんの～」とあきれてから、「ぬれ手であわをつかむと、たくさんついてくるでしょ。苦勞しなくても、多くを得るって意味」

私は「ふ～ん」と納得したが、すぐ疑問がわいた。

「別に手がぬれてなくたって、あわの中に手を入れればつくんじゃない?」母は一瞬変な顔をした。

「あなた、あわって、粟よ。穀物の粟」

あれ、そうだったのか。てっきり石けんの泡かと思っていた。母は「大学生にもなって情けない」となげきつつ、大笑いしている。その晩、兄が帰ってくるとさっそく私はたずねた。

「そんなもん、ぬれた手にあわがつくってこっちゃ」「あわって、石けんのあわのこと?」

「うん、他に何かある」めんどくさそうに、しかし、まじめくさって答えている。冗談で言っているのではない。兄は私よりも7つも年上で、高校教師をしている。でもまあ、普段の行いや性格から考えて、たぶん知らないんじゃないかと思った。



～『暮らしの手帖』より～

似た諺として、『とらぬ狸の皮算用』……。あるいは、勉強をせずに、みんなの言う「いい点」を期待するようなこと……

連絡

◆参観日週間は、中止となりましたが、2月1日(月)の1学年学年(15:05～体育館です)・学級PTA(15:45～新型コロナウイルス感染拡大予防のため体育館で、短時間行います。感染の状況によっては割愛する可能性もあります)が行われます。多くの保護者の皆様のご来校をよろしくお願い致します。

◆2月、3月は、「学年費・給食費」の口座振替はありません。ご承知おきください。

